

令和6年 宮城県内における死亡災害発生の概要

令和6年5月8日 現在速報

番号	業種	労働者数	事故の型	発生状況
	発生月	時間帯	起因物	
1	木材伐出業 (6.2.1)	10～49人	激突され	松の木（樹高31m、胸高直径43cm）の伐木作業において、伐倒方向をチルホールで調整していたが、木が予定していた方向からずれて倒れ、チルホールを操作していた被災者に激突した。
	2月	14時台	立木等	
2	その他の林業 (6.2.9)	1～9人	飛来、落下	チェーンソーを使用して、立木（高さ27m、胸高直径38cm）の伐木作業を行っており、追い口を入れたところ、立木が地面と垂直方向に割れ、割れた立木が被災者に直撃し、下敷きとなった。
	3月	10時台	立木等	
3	木材伐出業 (6.2.1)	10～49人	飛来、落下	杉の木の伐木現場における作業状況を撮影するために入場していた被災者に樹高約30メートルの伐倒木（杉の木）が激突したものの。
	3月	14時台	立木等	

(注)速報をとりまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。